



黒井堰

水^み 土^ど 里^り ウオーク

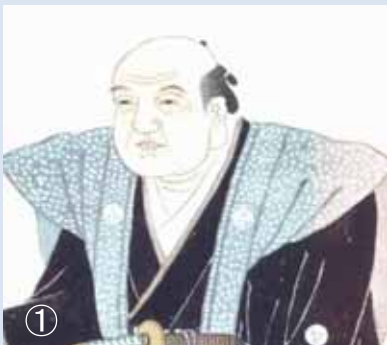
上杉鷹山の 灌漑事業

黒井堰は、一七九四年に、米沢藩主の上杉鷹山による藩政改革の一環で整備された施設である。

当時、水不足に苦しんでいた北条郷（現在の米沢市く南陽市）に水を引くために、勘定奉行の黒井半四郎忠寄に命じて事業に着手した。堰名の由来は、黒井忠寄の功績を称えたものである。

最上川を堰上げ、米沢市北部から南陽市までの約三十二キロメートルに及ぶ水路は、国営・県営事業によってコンクリート水路となっているが、置賜地域の農業を支える重要な灌漑施設として、今も変わらず活躍している。

また、旧黒井堰水路は歴史的価値だけでなく、自然環境を守るための施設としても一躍を担っている。



①



②



③

黒井半四郎像（米沢市上杉博物館所蔵） 上杉鷹山像（米沢市上杉博物館所蔵） 黒井堰水路橋（最上川横断面部）

黒井堰 周辺マップ



黒井堰 黒井堰遺跡
新田ファーマーズマー
ケット

おそのづか

小其塚の遺跡と自然を守る

～小其塚環境保全会～

高畠町小其塚地区は、ほ場整備事業の環境調査で、希少植物の『こうほね』が群生していることが判明した。地区全体でこうほねを保護したいという機運が高まり、黒井堰遺跡に移植し、地域と共同で保護活動を行なっている。



こうほね（河骨）

スイレンの仲間。6～9月に花を咲かせる。浅い池や沼に自生しており、生息地の減少とともに、個体数も減少している。根茎には解熱・鎮痛作用があり、生薬として利用されている。



航空写真提供：水土里ネットやまがた（水土里情報システム）

チョツと近くへ・・・

黒井堰の近くには、新田ファーマーズマーケットという直売所がある。（農楽里 2013 春号で紹介）

ここは、地元産の農産物だけでなく、地元産の野菜を使った加工品やスイーツも売っているという、ちょっと新しい直売所だ。

黒井堰へ行った際に、ぜひ立寄ってみては。

